

◇令和6年度 前期終業式の校長講話から

① 友だち、先生の話ときく！
 ② 自分がやられていやなことは、友だちにしない！
 ③ そうじをがんばる！

今の学年が終わるまでには、上の3つができるようにしましょう！

「ありがとう（有り難う）」
 ↓
 「めったにないこと」
 ↓
 あたりまえ（いつもあること）

前期の終わりに、子どもたちには①「夏休み前に、校長から全校の子どもたちにお願した3つのこと（左図）」の確認と今後も引き続きがんばってほしいということ。そして、前期が終わる9月27日（金）まで、大きな事故もなく無事に過ごすことができたことへの思いから、②「ありがとう」という言葉を取り上げました。最初のクイズ（「ありがとう」の反対語は？（答え：あたりまえ）は、子どもたちには難しかったようでした。この「ありがとう」という言葉は、大人気漫画『One Piece』の作者 尾田 栄一郎さんも、「ルフィとその仲間と言わせている」というこだわりがある（86巻「SBS 質問コーナー（p116）」ことも紹介しました。

さらにもう一問！
 「ありがとう（有り難う）」の反対は？
 ↓
 答え：あたりまえ

「前期が終わる今日まで、学校に来ることが

できたのは、保護者の皆様の家庭でのお支えがあつてこそ。また、大きな交通事故なく登下校できたのは、地域の皆様の見守りがあつてこそ。そうした有り難さを子どもたちにもしっかりと感じながら、前期を締めくくってほしい。また、後期も学校中に「ありがとう」が響き渡る学校にしたいと思い、子どもたちに話しました。

「あたりまえ」ではなく、
 「ありがとう」と言える人は、
 カッコいい！

◇令和6年度 後期始業式の校長講話から

後期が始まり、子どもたちは、それぞれのクラスで担任の先生とともに自分の目標を見直す時期であることを踏まえ、“子どもたち自身が考えた個々の目標を達成していくためのアドバイス”として、「お天道様が見ている」というお話を①～③の流れでおこないました。

- ①自分が決めた目標に向けてしっかりと取り組んでいることは、「お天道様がしっかりと見て下さっている。」と思い、がんばり続けること。また、目標に向けた取り組みがくじけそうになった時は「お天道様も見ているから、がんばろう。」と思うようにすること。
- ②日々の学校や家庭での生活で、「そうしかぁ、めんどくさいなぁ。」とか、「宿題かぁ…。遊んでからにしよう」など、「ちょっとくらいいいかな…」と思うことが誰にでもあります。或いは、「〇〇さんてさぁ、××だよな。」と、つついその人がいないところでの噂話、時に悪口へと発展してしまうようなこともあります。
- ③そのような時にも「お天道様が見ている」と思い、自らの行動を見直す習慣をつけるようにすることで、「自分自身の行動を律することができる心」を育てていくことができるようになる。

「自分の取り組みを見なおしましたか」
 ↓
 『誰かが見ていなくても、お天道様が見ている』と思うこと。

「しゅくだいかぁ…。遊んでからにしよう…。」
 「おふろそうじやだなぁ…。ゲームしてからでいいや。」
 ↓
 ・宿題してからの方が、
 ・やることを先に終わらせた方が、
 気持ちよく遊べるな！

『誰かが見ていなくても、お天道様は見ている』
 ↓
 自分もみんなも使う所だから、がんばろう！
 自分が買われていたら、いやだな…。
 宿題してからの方が、気持ちよく遊べるな！
 ↓
 ※自分の気持ちを、自分で良い方向にコントロールできるようになる！

後半部分、「低学年の子どもたちには、ちょっと難しいかな…」とは思いましたが、後期が始まる節目のこの時期、子どもたちが自らを律することができるようになってほしいと思い、話しました。

学習にも遊びにも、一生懸命に取り組むことができるのが四賀小の子どもたちの良いところ。期待しています。



10月7日 5年 稲刈り・はぜかけ

一度雨天のために延期となりましたが、5年生が7日に稲刈り・はぜかけを行いました。初めて扱う鎌に、子どもたちは、最初はおそるおそるの様子でしたが、すぐにコツをつかみ、どんどんと刈り取っていました。また、最後は稲を学校のプールのフェンスにかけ、はぜかけも行いました。はぜかけの際には、下に落ちた籾を一粒一粒拾う子どもたちの姿がありました。

活動後の子どもたちの感想から、私たちが口にしてる食物には、たくさんさんの努力や工夫があることに気づくことができたようです。

また、来週は松木さんや JA の方のご指導のもと、脱穀の体験も予定しています。千歯扱きから足踏み脱穀機、ハーベスターなど、様々な道具や機械を使って、脱穀を体験させていただく予定です。

収穫の日を迎えるまでに、コーディネーターの松木さんを始めボランティアさんや JA の皆様には、水の管理や下草刈りなど、様々な面で支援していただきました。ありがとうございました。



10月3日 諏訪で育ったお花をいただきました

JA 信州諏訪「食農・花育活動」の一環として、管内産のお花を贈呈していただきました。当日は児童代表として、児童会四役が JA の方からお花を受け取りました。たくさん頂きましたので、校内のいくつかの教室にも飾らせてもらっています。子どもたちからは、「教室が明るくなった」「イライラしても穏やかな気持ちになれる」といった声が聞かれました。前期には、中洲小から人権の花も贈呈していただきましたが、花は人を笑顔にしてくれます。お花を贈呈してくさった人々の気持ちも感じながら、華やかになった学校を楽しみたいと思います。



10月11日 ワンワンパトロール紹介式



10月11日に1~3年生が参加して「ワンワンパトロール紹介式」を行いました。諏訪警察署・四賀交番連絡協議会や諏訪市少年警察ボランティア協会の皆様とライポくん、そして警察犬の2頭が、四賀小にお出でになり、交通事故や犯罪に巻き込まれないようお話をしてくれました。最後は、子どもたちの下校に警察犬が付き添ってくれました。何気なく歩いている通学路も、危険はいっぱいです。子どもたちは、自分たちの安全を地域の様々な方が気にかけてくださっていると、気付くことができました。安全な登下校をこれからも心がけていって欲しいなと思います。

10月16日 みどりのカーテン (ヘブンリーブルー) 活動 参加証授与式

自然委員会の子どもたちが中心になって育てた中庭のヘブンリーブルー (西洋朝顔) が大きく成長し、青色の花を咲かせています。今年、諏訪市ゼロカーボンシティ推進室が行っているみどりのカーテン活動にも参加し、16日には参加証授与式が、中庭で行われました。当日は、自然委員会の一人ひとりが推進室長様から、参加証書を受け取りました。地球温暖化が叫ばれる今日この頃ですが、こうした取り組みに寄せる思いが全校の児童にも広がり、環境問題にも興味を持ってくれるといいなと思います。



フォトギャラリー ～みかこう の知恵 の心 の体～



春と一緒に植えたサツマイモも大きく成長し、1・6年生で収穫しました



2年 音楽会オペレッタの衣装づくり



3年 オギノ見学



4年 1年生を招待して交流会



5年 工業メッセ見学

お知らせ・お願い

〈情報モラル講演会 12月6日(金)〉

スマホ・タブレット・ゲームなど、子どもたちを取り巻くネット環境は、日々大きく変化しています。

ネットは、今や私たちの生活になくてはならない便利なものではありませんが、一方で様々な問題を引き起こしているのも事実です。本日、【別紙『スマホ、タブレット、ゲーム機等に関するアンケート』】を配布しました。本校の3～6年生を対象に行ったアンケート結果と考察を記載してあります。ご確認をお願いします。

四賀小学校では、子どもたちには上手にスマホ・タブレット・ゲームなどを利用してほしいと願い、「ネットとの上手な付き合い方」をテーマに、高学年児童・保護者の皆様向けに講演会を計画しました。前半は、講話を児童と保護者一緒にお聞きし、後半は児童退席後、保護者向けに講話をしていただく予定です。各ご家庭で、ネットの使い方について話題にさせていただく際に、講演会で聞いたことを親子で共有できるのは大変有効と思います。保護者の皆様におかれましては、お忙しい中ですが、ぜひご臨席いただきますようお願いいたします。

◇日時：12月6日(金) 第6校時 14:45～15:30 高学年児童・保護者
15:30～16:00 保護者のみ

※通常日課、15:55下校

◇場所：四賀小学校体育館

※保護者の皆様は、児童昇降口から入り、体育館にお出てください。

駐車場は、校庭を予定していますが、天候により駐車できない場合があります。

◇講師：子どもとメディア信州代表 松島 恒志 氏

◇演題：「ネットとの上手な付き合い方」

〈学校にご連絡ください〉

- ・今後、転出等のご予定がある各ご家庭では、早めに学校までご連絡いただきますようお願い致します。
- ・ボランティアさんのご協力により、行事や学習活動が充実しています。大変ありがたいことです。今後も「ちょっとしたこと」を助けてくださる「ちょボラさん」を随時募集しています。いつでも、短時間でも構いません。ご都合のよい時にいらしてください。ご不明な点は四賀小 教頭(TEL:52-1136)までお問い合わせください。

○校庭の落ち葉掃きをはじめとした環境整備のボランティアさん

○児童の登下校を見守ってくださるボランティアさん

○学校の修繕のお手伝いをしてくださるボランティアさん などを 募集しています。